

関西支部第8回学生論文発表会

有馬昌宏（ありま まさひろ）
兵庫県立大学応用情報科学研究科

関西支部の第8回学生論文発表会が、2012年3月2日（土）の午後1時から午後5時まで、大阪府立大学経済学研究科なんばサテライト教室を会場に開催された。関西支部の学生論文発表会は、関西支部の活動の活性化の一環として、大学・大学院で教育を受けて研究を行ってきた学生の研究活動の集大成の一つである卒業論文、修士論文、博士論文という研究成果を広く公表する機会を提供し、他大学の学生の論文発表を聴くことを通じて切磋琢磨し、優れた研究を顕彰することによってさらなる研究の発展へとつなげてほしいとの思いから、「経営情報学関連の論文発表の甲子園」を目指して2005年度から始められた事業である。

2012年度で第8回となる学生論文発表会であり、昨年の第7回発表会に引き続き、日本情報経営学会関西支部の協賛も受けて、学部卒業論文発表者2名、修士論文発表者4名、博士論文発表者2名の参加を得て、発表も内容も、さらに質疑応答も非常に充実した発表会とすることができた。

全発表者の発表後に、出席した支部役員（支部長の有馬昌宏、副支部長の宗平順己、前支部長で支部運営委員の福井 誠、学生論文発表会の運営責任者で支部運営委員の森田裕之）で審査委員会を構成して審査を行い、優劣がつけにくいなか、3名の発表者に最優秀発表賞を、選に漏れた5名の学生に優秀論文賞を授与することにし、学部卒業論文の部、修士論文の部、博士論文の部でそれぞれ司会を務めた福井運営委員、宗平副支部長、有馬支部長からの講評の後、表彰式でそれぞれの学生に表彰状・楯と記念品の名前入りボールペンを授与した。

今回の学生論文発表会での発表者と所属と論文タイトルは以下に示すとおりであり、○を付けた発表者が最優秀発表賞の受賞者である。

学部生の部（13:00～13:30）

（発表10分：質疑5分）

「企業報の価値：利害関係者、組織成熟度、外部環境から見た比較事例研究」

伊藤咲織（神戸大学経営学部）

「消費者異質性とCM異質性に着目した広告効果の測定について」

○矢倉和雄（同志社大学文化情報学部）

修士（博士前期）課程の部（13:35～15:15）

（発表15分：質疑10分）

「平常時と災害時における防災活動の現状と課題—全国ウェブ意識調査と兵庫県三木市住民意識調査の結果から—」

上野卓哉（兵庫県立大学応用情報科学研究科）

「イノベーション推進におけるITの役割に関する基礎的研究」

○高木修一（大阪市立大学経営学研究科）

「系列データと非系列データが混在したデータに対するコントラストパターンを用いた分類予測モデルの構築」

西口真央（大阪府立大学経済学研究科）

「インターネット時代の学生の実演芸術鑑賞活動と文化意識の現状とその変化—過去4回の全国学生調査に基づく分析—」

福永征世（兵庫県立大学応用情報科学研究科）

博士後期課程の部（15:45～16:45）

（発表20分：質疑10分）

「知識移転が組織パフォーマンスに与える影響とそのメカニズムに関する実証研究」

○大江秋津（筑波大学システム情報工科学研究科）

「情報システム構築を伴う経営改革のマネジメント・フレームワークに関する研究～経営改革プロジェクトを成功に導く経営者の役割と行動～」

栗山 敏（武蔵大学経済学研究科）

本年度も第9回学生論文発表会を開催する予定である。第8回発表会では、関東からの発表者も2名あり、発表者の所属は関西支部だけに限定はしていないので、多くの学生の皆さんの参加をお待ちして

いる。

最後に、本発表会を開催するにあたり、多くの便宜を図っていただいた大阪府立大学経済学研究科に感謝申し上げます。

